

科目名		構造力学 II			
担当教員		羽下 準嗣		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		1年次に修得した構造力学の基礎を基に、断面の性質、応力度に関する知識を習得し、断面算定の基礎を学習。又、学習した断面の諸係数を基に、座屈、たわみに関する知識を習得。 これまで学習してきた内容を基に不静定構造の基礎を学習します。			
学習目標 (到達目標)		断面の諸係数から応力度、座屈、たわみ、不静定構造の基礎までを学習。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		教科書 (やさしい構造力学)、配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	断面の諸係数			断面1次モーメント、断面2次モーメント、断面係数の解説より解法を学習する。	
2	応力度			軸応力度、曲げ応力度、せん断応力度の解説より解法を学習する。	
3	座屈			座屈の基礎から座屈長さ、座屈荷重について学習。 支点の種類、断面形状、断面二次モーメントとの関係について学習する。	
4	たわみ			たわみの基礎からたわみ量、たわみ角について学習。	
5	不静定構造物			不静定構造の基礎からその基本的な解法を学習。	
6	塑性解析			塑性の基礎から構造物の崩壊、保有水平耐力について学習。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	期末試験	取組姿勢		1年次の基礎がとて大切になっています。各授業での理解度を確認しながら進めます。 計算自体はとて簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張らしましょう。	
40 %	50 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築設計事務所にて意匠設計に従事。			